

案件化調査：職業訓練・産業育成分野
マレーシアにおける日本の先端測量計測機器を活用した、
社会整備資本等の維持管理能力向上を目的としたODA案件化調査事業

企業・サイト概要

- 提案企業：関西工事測量株式会社・アクセンチュア株式会社共同企業体
- 提案企業所在地：大阪府・東京都
- サイト・C/P機関：マレーシア(クアラルンプール)、Universiti Teknologi Malaysia (UTM)

マレーシア国の開発課題

- 橋梁数が年々増加する中、先進国で相次いで発生した老朽化による崩落事故を未然に防ぐため、早期段階から精度の高い点検及び劣化予測に基づく予防措置の実施が急務。
 - ・ 点検者のスキル・経験に依存した方法からの脱却
 - ・ 点検範囲拡大及び安全性の確保
 - ・ 交通規制が不要または短時間で済む点検手法の確立

中小企業の技術・製品

- 遠隔ひび割れ計測システム「KUMONOS」は、以下の優位性を有しており、構造物の維持管理において、正確性、安全性、効率性を確保する。
 - ・ 離れた位置から構造物のひび割れの形状と幅を迅速に且つ正確に計測
 - ・ デジタルデータとして記録するためスケッチ不要
 - ・ 自動描画機能により図面作成の時間を短縮
 - ・ ひび割れの経年変化を定量的に把握可能

提案されたODA事業及び期待される効果

- KUMONOS計測の実績を作り、KUMONOSに対する認知度・評価を上げ、その有用性を実証する。
- KUMONOSの計測データを基に、マレーシア-日本の大学研究機関間での劣化予測システム作りを行い、劣化分析の高度化を実現することにより、構造物の維持管理強化に貢献する。
- 構造物の正確なひび割れ計測の必要性、重要性について啓発活動を行い、構造物の維持管理強化に貢献する。

日本の中小企業のビジネス展開

- KUMONOS及びその価値がマレーシアにおいて広く認知され、構造物の維持管理の現場で活用される(KUMONOSの販売が促進する)足掛かりとする。

